

大丈夫。上映会・ミニコンサート

小児科医
細谷亮太のコトバ

<ドキュメンタリー映画>

伊勢真一 演出作品

入場無料

定員150名



※500円以上募金をしてくださった方にはゴールドリボン（ピンバッチカストラップ）を差し上げます。

9/8 (土)

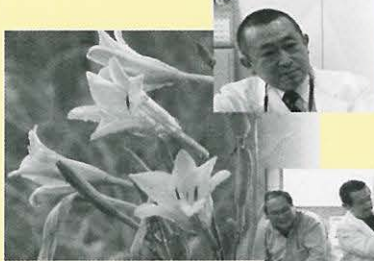


朝の目
迷い
ふんわり
かづら



此がみえず身もみえず
言葉のまりのまいた

鯉のぼり
夢に泳ぐの



「大丈夫」もお祈りですね
小児科医・細谷亮太の
「いのち」を見つめるコトバたち

大丈夫。

「大丈夫。」は小児科医・細谷亮太さんの口グセです。診察を終えた病気の子どもたち一人ひとりに必ずそのひと言を添えて、励まします。それは、40年来、小児がん治療の最前線で子どもたちの「いのち」と向き合い続けてきた、細谷先生の自身への、励ましのコトバなのかもしれません。

「小児がんの子どもたちの7割から8割が治るようになっていくこと、しかし、その事実があまり知られていないことが、治つた子どもたちの生きにくさに繋がっていること」を知ってもらうために、十年以上の歳月を経て、映画「風のかたち」小児がん仲間たちの10年」を完成させました。そして、編集室には膨大な未使用の映像が残されました。何しろ1000時間にも及ぶ映像を1時間45分にまとめたのですから……
その中でもほとんど使われなかったものに、先生へのロングインタビューがありました。全部で20時間程の「いのち」を見つめたコトバたちです。

「朝顔の花数死にし 子らの数」(暁々)
病気の子どもたちとの40年にわたる日々を綴った、細谷暁々(先生の俳号)の二冊の句集をめぐりながら「風のかたち」に続く姉妹作「大丈夫。」を創ろう、という思いが湧き上がりました。

映画「大丈夫。」小児科医・細谷亮太の「コトバ」は、些細なことにメゲて落ち込んでしまふ癖のある私や、映画を観る一人ひとりに、励ましのひと言です。それは、細谷先生の「コトバ」を借りて、沢山の子どもの心臓が語りかけてくれている、お祈りなのかもしれません。映画を観終えたら、貴方も誰か他の人に「大丈夫。」と言いたくなるにちがいないと思います。

伊勢真一(かんとく)

細谷 亮太 (ほそや りょうた)
小児科医 聖路加国際病院副院長
1948年山形県生まれ。小児がんの子どもたちの治療にたずさわると同時に、子どもたちとのキャンプ活動や執筆活動にも取り組む。主な著作は「いつもいいことさかし」(暮らしの手帖社)「生きるために一句」(講談社)「生きようよ」(岩崎書店)など。句集に「桜桃」「二日」がある。

伊勢 真一 (いせ しんいち)
ドキュメンタリー映像作家
1949年東京都生まれ。「奈緒ちゃん」「ありがとう」「えんとこ」「風のかたち」をはじめ、多くのヒューマンドキュメンタリーを製作。近年は若手の作品プロデュースも積極的に手がけている。日常をふんわりと映し出す映像の中に、生きることの素晴らしさが込められた独特の作風で知られる。

日時 **9月8日 (土)**
1回目 13:00 (12:30開場)
14:50~15:40 ミニコンサート
2回目 16:00
場所 **せんだいメディアテーク 7F**
022-713-3171 地下鉄勾当台公園駅 徒歩5分

主催 公益財団法人 がんのこどもを守る会 宮城支部
問合せ 090-7568-3724 (佐藤)
090-2881-3554 (小野)